## 届出書

<u>₩</u>	目の日	3付(	L事開	始7日前ま	で)
	/				
<b></b> 令和	年	月	Н		

宛先 松 阪 市 長

フリガナ

発注者又は自主施工者の氏名(法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名) **(桝〇〇 代表取締役 ○○ ○○** (郵便番号 ○○○ - ○○ - ○○ - ○○○ - ○○○

住所 ○○県○○市○○町○○丁目○○○番地

(転居予定先) (郵便番号

(郵便番号 一 )電話番号 -

住所\_\_\_\_\_

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1	工事の概要
т.	上 于 V M 从

- ①工事の名称 ○○様邸解体工事・○○マンション新築工事・ガス管設置工事
- ②工事の場所<u>〇〇市〇〇町〇〇番地</u>
- ③工事の種類及び規模

☑建築物に係る解体工事

用途 専用住宅 \_、階数 2 、工事対象床面積の合計 100 m2

✓建築物に係る新築又は増築の工事 用途 共同住宅 、階数 15 、工事対象床面積の合計 11,000 m2

□建築物に係る新築工事等であって新築又は増築の工事に該当しないもの

用途 、階数 、請負代金 万円

☑建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等 請負代金 1,000 万円

- ④請負・自主施工の別: ☑請負 □自主施工
- 2. 元請業者(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

フリガナ

- ①氏名(法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名)(郵便番号 ○○○ ○○○○ )電話番号 ○○○ ○○ ○○○○
- ②住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地
- ③許可番号(登録番号)
  - ☑建設業の場合

建設業許可<u>国土交通♥</u>大臣□知事<u>(特 - ○○ ) ○○○○</u>号(<u>○○</u>工事業)

主任技術者(監理技術者)氏名\_\_\_\_\_\_〇〇 〇〇

☑解体工事業の場合

解体工事業登録 〇〇 知事 〇〇〇〇 号

技術管理者氏名 〇〇 〇〇

3. 対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日 (請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

令和 ○ 年 ○○月 ○○日

4. 分別解体等の計画等

建築物に係る解体工事については別表1(工事スケジュール・地図・写真添付) 建築物に係る新築工事等については別表2(工事スケジュール・地図・平面図添付) 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等については別表3(工事スケジュール・地図・平面図添付) により記載すること。

5. 工程の概要

(工事着手予定日) 令和 ○ 年 ○○ 月 ○○ 日

別紙のとおり (工事完了予定日) 令和 〇 年 〇〇 月 〇〇 日

(できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。) (注意)

- 1 □欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。
- 2 届出書には、対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真を添付すること。

※受付番号

## 分別解体等の計画等

	7∈	建築物の	の構造		鉄筋コンクリート造 [	]鉄筋コン		4	①解体建築物の構造の種類に よりチェックマークを付けて下さ	
	Æ	E架初V	7件坦		ンクリートブロック造 [	□その他(		)	い。	
建築	築物	建築物	かの状況	築年数 <u>30</u> 年、棟	i数 <u>1</u> 棟	②建築物のおおよその築年数				
 	こっま	国江山州	2.711	その他(	<b>尼</b> 住夕 口喜类坛凯	と棟数を記載して下さい。				
	る調 別結	周辺状	(7年	周辺にめる他設 敷地境界との最短		☑住宅 □商業施設 ☑学校 □病院 □その他(			③隣家等の建物の近接状況	
	果			その他( 住宅客					周辺環境を記載して下さい。	
				<u> </u>	に関する調査の結果		工事着手	前に実施する措置の内	4解体用機械の設置場所や作	
		作業場	易所	作業場所 □十分	↑ ☑不十分		隣地使用	容 の承諾済、◆	業場所の確保策を記載して下さい。	
				その他( 隣地の			道路使用	許可済		
		搬出組	E路	障害物 □有(	)☑無			員の常駐を計画	⑤障害物がある場合、前面道	
				前面道路の幅員			搬出用に	2トントラックを準備	路の幅員が狭い場合、そのための対策を記載して下さい。	
				通学路 ☑有 □					27-27-17-18-HG-47-0-C-1-C-1-9	
		残存物	7.2.	その他( 大型車i <b>☑</b> 有 (エアコン	<u> </u>		丁重施丁	までに搬出		
	築物 引する	12.11.1/	2 111	□無	,		工·尹/尶工。	S C (C)IXIII	⑥残存物品の措置を記載して 下さい。	
調	ョッる 査の	特定建	建設資材への	□有(	)			4		
		付着物		☑無					載して下さい。	
	工事 前に	他法 令関	石綿	<b>☑</b> 有				<b>*</b>		
	する	係	(大気汚染 防止法・安			r \	石綿作業	主任者を選任済		
	置の ]容		全衛生法石	特定建設資材への □無	の付着( □有  ☑無	Ę )	湿潤措置		8付着物がある場合、 8 付着物がある場合、	
' -			綿則)	<i>□ <del>////</del></i>					措置を記載して下さい。	
			フロン(フロン	☑有(業務用のエ	終用のエアコン・冷凍冷蔵機器のうちフ			Tube Vale		
			排出抑制 法)	ロン類が使われて			フロン類回収済			
				□無						
		その他						<b>—</b>	■ ②有害物質発生がある場合、	
			2						種類、発生箇所等について記	
									載し、その措置の内容を記載し て下さい。	
工					作業	作業内容 分別解体等の方法				
ごと	①建约	築設備	•内装材等		建築設備·内装材等 ☑有 □無	の取り外し		<ul><li>✓ 手作業</li><li>□ 手作業・機械作業の併用</li></ul>	⑩原則手作業。機械併用の 場合の理由を記載して下さい。	
の作								併用の場合の理由()	工期短縮は不可です。	
· 業 内	②屋	艮ふき	オ		E III X X III o E II A		□ 手作業 ☑ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由		の原則手佐業 機械併用の	
容					屋根ふき材の取り外 ☑有 □無				⑪原則手作業。機械併用の場合の理由を記載して下さい。	
及 び					,			(トタン屋根のため滑る)	工期短縮は不可です。	
解 (	3外	表材・上	:部構造部分		外装材・上部構造部	分の取り	裏し	<ul><li>□ 手作業</li><li>☑ 手作業・機械作業の併用</li></ul>	②取壊しの有無と分別解体等	
方	④基6	楚•基碛	<b>些ぐい</b>		☑有 □無 基礎・基礎ぐいの取り	り壊し	□ 手作業・機械作業の併用		の方法にチェックマークを付け	
法					☑有 □無			☑ 手作業·機械作業の併用	て下さい。	
	⑤その (	り他 )			その他の取り壊し □ 手作業					
			□事の工程の∥	順序	<b>☑</b> 上の工程における①→②→③→④の順序				13その他の場合は、一部の工	
					□その他(  その他の場合の理由	程がない等の理由を記載して  下さい。				
	<u>.</u>	2内装	才に木材が含	まれる場合	①の工程における木材の		となる建設資	   対の事前の取り外し	□ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・	
					□可 ☑不可	7+1 // Hm /	り排光しむ	D 例 1 ぶっさかいた b )	枠の金属など分別の支障になる。	
建築物に用いられた建設資材の量の見込み				オの量の見込み	不可の場合の理由(建築物の構造_			995UM (375K 1/28) )	る要因を記載して下さい。 ⑮すべての資材のトン数につ	
廃!				類ごとの量の見込	50トン 種類	量の	見込み	発生が見込まれる部分(注	」しょうこくの貝がのアン級についいて記載して下さい。	
棄。				れる建築物の部分	☑コンクリート塊					
物発				<b>☑</b> アスファルト・			25h> 🗆 🗓 🗆 🗆 🗆 🗆 🗆 🗆 🗆 🗆 🗆 🗆 🗆 🗆 🗆		』⑩発生が見込まれる部分は(注) に従い、適切に工程にチェック	
生見					コンクリート塊		トン		マークを付けて下さい。	
込					☑建設発生木材		10トン		数量は整数で記載して下さい。	
를 L	(注) ①	建築設備	請・内装材等 ②屋相	根ふき材 ③外装材・上部	     講造部分 ④基礎・基礎ぐい	<ul><li>⑤その他</li></ul>	101/			
備考	テ コン	/クリー	ト:○○産業	アスファルト:〇〇舅	興業 木材:○○興産			4	源化の依頼予定事業者を記載	
ı									して下さい。	

<sup>□</sup>欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

別表2	
(新築の場合)	

,			
(	А	4)	

,,,,,	(新築の	場合)			建築物に係る		(新築•増	築・修繕・	模様替)	
使用する特定建設 ✓				<b>7</b> 7'	分別解体等の計画等 グクリート ☑コンクリート及	■ ①工事に使用する特定建設資 材の種類ごとにチェックマーク				
					<i>っ</i> フ	を付けて下さい。				
		建築物の状況		築年数		Į			4	── - ②新築の場合空欄。増築・模
				その他	<u>t</u> (		)			は
	築物に	周辺状況	,	国初1	こある施設 ☑住宅 □商	6業施設 <b>□</b>	学校			世載して下さい。
	の結果	101/21/10	ц	)HJ X2 (	-2003/2010 <b>₩</b> 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		子仅	)	_	
		敷地:			竟界との最短距離 約			,		3隣家等の建物の近接状況
				その他	その他( 幹線道路沿い、交通量多い )					周辺環境を記載して下さい。
					建築物に関する調査の結果 工事着手前に実施する措置の内容				☆	
						かロンド				
		作業場所	Ī		場所 ☑十分 □不十分		道路使用	計可を取	文得	<ul><li>④工作機械の設置場所や作業場所の状況と確保策を記載</li></ul>
				その化	<u>u</u> (					して下さい。
		搬出経路	7	<b>陈生</b> 相	勿 ☑有(未舗装) □無		事件や仕十二三	1年1ヶ上かっ	工事用道路の	 ⑤障害物がある場合、前面道
		加山莊此	ì		が ☑ 有 (未舗装) □ 無 道路の幅員 約 12	700	放 数 数 数 数 数 数 数	ス匠(により)	上事用担的の	四回
					<sup>■</sup>	111	交通整理	員の常駐	注を計画	めの対策を記載して下さい。
	築物に			世子 で その 化						
		特定建設	と 資材への付着	口有	E( )					 ⑥新築工事は記載不要。
及	び工事	物		(	)				4	修繕・模様替等工事で付着物
	手前に施する	(修繕・梼	模様替工事のみ)		,					の有無のチェックマークを付け、付着物がある場合は措置
	置の内									の内容を記載して下さい。
	容	他法令	石綿	□有						
			(大気汚染防 止法•安全衛	特定發	寺定建設資材への付着( □有 □無 )					⑦新築工事は記載不要。
		替工事	生法石綿則)	□無						修繕・模様替等工事でフロン 類の使用の有無のチェック
		のみ)	フロン (フロン		業務用のエアコン・冷凍		4			マークを付け、使用の場合は
			排出抑制法)		ロン類が使われているもの	<i>(</i> ))				措置の内容を記載して下さい。
		- 11		□無			⑧修繕・模様替等工事で有害			
		その他			<b>←</b>				物質の発生の場合は、種類・ 発生箇所等について記載し、	
Ļ	1		<b>工</b> 和		Γ	<i>[[</i> ←-抖	内容			──措置の内容を記載して下さい。
工  程	①造成:	工程 ①造成等			L 造成等の工事 ☑有 □		円谷	<b>—</b>		■ ②造成工事の有無について、
ごと		•							チェックマークを付けて下さ	
との	②基礎	<ul><li>基礎ぐい</li></ul>			基礎・基礎ぐいの工事 ☑有 □無					<ul><li>い。</li><li></li></ul>
作		al we ( )								いてチェックマークを付けて下
業内										さい。
容	③上部	構造部分	•外装			-+ -+	— <i>f</i>			①上部構造・外構の有無につ
					上部構造部分・外装の工事 ☑有 □無				- いてチェックマークを付けて下	
									さい。	
	④屋根				   長担の工事 <b>ロ</b> 左 □年					□ ② 屋根工事の有無について、
					屋根の工事 ☑有 □無				チェックマークを付けて下さ	
	⑤建筑	建築設備・内装等			建築設備・内装等の工事 ☑有 □無				い。 ③建築設備・内装工事の有無	
	OÆ X	VIII 112	C 17		一人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人	, m	***	-		について、チェックマークを付
									けて下さい。	
	⑥そのf ( 仮i				その他の工事 ☑有 □	」無		-		■ 値仮設工事などその他の工事 の有無について、チェックマー
					1				クを付けて下さい。	
			棄物の種類ごと 定建設資材が使		種類	量の見	込み		る部分又は発生: まれる部分(注)	φ <sub>2</sub>
物	る建築物	かの部分)	及び特定建設資	材廃棄	☑コンクリート塊				<b>1</b> 2 <b>2</b> 3 <b>2</b> 4	■ ⑤発生が見込まれる部分は
発	物の発	0発生が見込まれる建築物の部分				20トン 🗷 🗓 🗎 🌀 🗸				(注)に従い、適切に工程に チェックマークを付けて下さ
生見					□アスファルト・コンクリート塊		2hン □5 図6 *** V.			
込					☑建設発生木材				12 <b>2</b> 3 <b>2</b> 4	数量は整数で記載して下さ
量	(注) (	造成等	②基礎 ③上部	構冶部	 『分・外装 ④屋根 ⑤建:	築設備・内堤	20トン 等 ⑥そ	<b>図</b> ⑤ <b>図</b> の他	](6) 📕	
備					○興業 木材:○○興産		, 🤟 🖰	<u>ت ر</u>	4	<ul><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>
										載して下さい。

分別解体等の計画等

	工作物の約 (解体工事)		□鉄筋	コンクリート造 🛭 その他(	木造	)		•	①解体工事のみ記載。 鉄筋コンクリート造以外 他に具体的な構造を記 ださい。	
	工事の種	類	□電気 <b>☑</b> その	築工事 □維持・修繕工事 □解体工事 気 □水道 ☑ガス □下水道 □鉄道 □電話 の他(排水路設置・水門設置 )					②該当する項目にチェクを付けて下さい。 その他の場合は、具体 作物の種類を記載して	的な工 下さい。
	用する特定建設 新築・維持・修繕			ノクリート □コンクリート及び鉄から成る建設資材 スファルト・コンクリート □木材					<ul><li>③解体工事以外の工事 使用する特定建設資材 チェックマークを付けて</li></ul>	か
	工作物の状治	兄		40 年	④新築工事以外の工事	手では、				
工作物は	周辺状況		その他周辺に	( ある施設 ☑住宅 □商業施記					記載して下さい。	
				□病院 □その他( 界との最短距離 約 <u>3</u>	m	)		4	⑤隣家等の建物の近接 周辺環境を記載して下	
			その他	<ul><li>( 幹線道路上での工事、3</li><li>工作物に関する調査の組</li></ul>		一中美	k壬前	に実施する措置の内容		
	作業場所		作業場	所 ☑十分 □不十分	1.**			道路使用許可済	<ul><li>⑥工作機械の設置場所 場所の確保策を記載し</li></ul>	
				( 現道上における工事 )					が。	CIG
	搬出経路		前面道	□有( ) <b>☑</b> 無 路の幅員 約 <u>12</u> m ☑有 □無		交通整理員	の常願	註を計画	⑦障害物がある場合、 路の幅員が狭い場合、 めの対策を記載して下る	そのた
工作物は	z			( 道路上のため支障無 )						_
関する調査の工芸術を表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、表現では、	制 特定建設資材への付着物(解 □ 有 (			)					⑧新築工事は記載不要 修繕・模様替等工事で の有無のチェックマーク け、付着物がある場合に 内容を記載して下さい。	付着物 7を付 は措置の
容容	他法令関係 石綿 □有 (解体・維 (大気汚染防止		特定建	設資材への付着(□有□□				⑨新築工事は記載不要 修繕・模様等等工事で の使用の有無をチェック を付け、使用の場合は 内容を記載して下さい。	フロン類 クマーク 措置の	
	その他	その他							● ⑩解体工事で有害物質の場合は、種類・発生値ついて記載し、措置のF載して下さい。	箇所等に
工程ごと	工程			作業	内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)			<ul><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	にチェッ
の ①仮	設			仮設工事 ☑有 □無	□ 手作業 ◀			- 721117 (16)	0	
作業内								工作类,推动作类の併見	②仮設工事の有無につまる。 チェックマークを付けて	
容②土	I			土工事 ☑有 □無	□ 手作業・機械作業の併用 □ 手作業 ◀			13土工工事の有無につ	かって、	
び解る基	礎			基礎工事 ☑有 □無			手作業・機械作業の併月 手作業 ◀	チェックマークを付けて	下さい。 いて、	
体	体構造			本体構造の工事 ☑有 □無	r.		-	手作業・機械作業の併用		
方 (4)本	THE STATE OF THE S						+TF来 手作業・機械作業の併用	マークを付けて下さい。	エック	
⑤本	体付属品			本体付属品の工事 □有 ☑			手作業 ◀ 手作業・機械作業の併月	て、チェックマークを付い	こつい	
<b>⑥</b> そ	の他	他 ( )		その他の工事 □有 ☑無				手作業 🚤	い。 	
								手作業・機械作業の併月	の有無について、チェッ クを付けて下さい。	ックマー
		□程の順序 □事のみ)		□上の工程における⑤→④- □その他(	→③の順序	)		1   F	服解体工事のみ記載しい。その他の場合は、-	
					口その他( )				程がない等の理由を記	
	工作物に用いら	れた建設資材の量	1	その他の場合の理由(		)			下さい。 ®解体工事のみすべて	の資材
	の見込み(角	解体工事のみ)		1.		4			のトン数について記載しい。	して下さ
		めの種類ごとの量 <i>の</i>		トン 種類 量の見		 込み		する部分又は発生が見		
物 作物	の部分(新築・絲	と建設資材が使用 推持・修繕工事のみ 物の発生が見込ま	タ)及び	フコンクリート増		-	-	部分(注) ■② □③ □④	 ②発生が見込まれる部	分は(注)
生物の		■設資材廃棄物の発生が見込まれる □分(維持・修繕・解体工事のみ)		☑アスファルト・コンクリート塊		10トン		□⑥ ◀	に従い、適切に工程にマークを付けて下さい。	
見込						230トン			数量は整数で記載して	下さい。
量				□建設発生木材		k\z				
				5本体付属品 ⑥その他	© →	17				
備考	コンクリート:	○○産業 アス	(ファル	ト:○○興業 木材:○○	興産			•	<ul><li>②特定建設資材廃棄物 源化の依頼予定事業者 して下さい。</li></ul>	